

平成22年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ

上場取引所 東

コード番号 3774 URL <http://www.iii.ad.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 幸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 渡井 昭久

TEL (03)5259-6500

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	48,313	△4.9	2,007	8.8	1,783	43.6	1,133	219.8
21年3月期第3四半期	50,789	5.0	1,844	△37.5	1,242	△54.2	354	△91.3

	基本的1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	5,595.29	5,595.29
21年3月期第3四半期	1,719.82	1,719.48

(注) 当社は、平成21年4月1日より、米国税務会計基準審議会会計基準コーディフィケーション(以下、「ASC」といいます。)810-10-65「連結:連結財務諸表における非支配持分—会計研究公報第51号の改訂」を適用しております。従って、上表及び本書の【定性的情報・財務諸表等】の定性的情報における「税引前四半期純利益」は、四半期連結損益計算書における「法人税等及び持分法による投資損益調整前四半期純利益」を表示しております。また、従前の「四半期純利益」に相当する計数として「当社株主に帰属する四半期純利益」を表示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	当社株主に 帰属する資本	当社株主に 帰属する資本比率	1株当たり当社株主に 帰属する資本
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	49,002	25,818	52.7	127,469.81
21年3月期	52,301	25,169	48.1	124,265.27

(注) ASC810-10-65の適用により、当連結会計年度より、従前の「株主資本」、「株主資本比率」及び「1株当たり株主資本」に相当する計数として、それぞれ「当社株主に帰属する資本」、「当社株主に帰属する資本比率」及び「1株当たり当社株主に帰属する資本」を表示しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
22年3月期	—	1,000.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	68,000	△2.5	3,300	13.1	2,700	32.7

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有
 当社株主に帰属する当期純利益 ※ 通期 1,700百万円
 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益 ※ 通期 8,393円24銭

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(詳細は、本書9頁「【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 (3)」をご覧ください。)

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	206,478株	21年3月期	206,478株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	3,934株	21年3月期	3,934株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	202,544株	21年3月期第3四半期	202,544株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通しは、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通しの数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、本書9頁「【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)の連結業績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善が続くもとで輸出や生産の増加、内外における各種対策の効果などにより景気持ち直しの兆しは見られたものの、国内民間需要の自律的な回復力はなお弱く、企業収益の減少、厳しい雇用・所得環境による個人消費の低迷が継続しました。今後の経済環境については、景気は当面緩やかなペースで持ち直すことが期待される一方で、雇用情勢の継続的な低迷、海外景気の下振れなどに留意する必要があります。

当社グループが関連するデータ通信市場におきましては、前年度下期より景気低迷を背景とした設備投資の抑制及び費用削減の傾向が継続しており、厳しい事業環境にあります。システムインテグレーションの需要は緩やかな景気持ち直しとともに徐々に増加することが期待されますが、本格的な復調時期はまだ不透明であります。

当第3四半期連結累計期間におけるインターネット接続及びアウトソーシングサービスの売上高は、企業のアウトソーシング活用によるコスト削減及び業務効率追求等の流れが継続しており、前年同期比6.4%増の27,601百万円(前年同期は25,941百万円)となりました。システムインテグレーションの売上高は、システム構築において設備投資抑制の影響を強く受け、運用保守において一部の大口案件にて提供業務規模の縮小があり、またシステム構築案件の減少より新規売上が伸び悩み、前年同期比16.3%減の20,165百万円(前年同期は24,105百万円)となりました。これらにより、当第3四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比4.9%減の48,313百万円(前年同期は50,789百万円)となりました。

利益面では、インターネット接続及びアウトソーシングサービスの売上総利益の増加、前年度下期より継続しているコストコントロールの奏功により、前年同期比にて営業利益増加及び利益率向上が図れました。当第3四半期連結累計期間のインターネット接続及びアウトソーシングサービスの売上総利益は、前年同期比15.5%増の4,722百万円となりました。販売費、一般管理費及び研究開発費は、外注関連費用の減少及び一般経費の抑制等があり、前年同期比1.0%減の7,613百万円(前年同期は7,690百万円)となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比8.8%増の2,007百万円(前年同期は1,844百万円)となりました。

セグメント別では、新規事業であるATM運営事業につきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるATMの設置数は147台となり、営業損失は731百万円(前年同期は456百万円)となりました。既存事業であるネットワークサービス及びSI事業の営業利益は、前年同期比18.4%増の2,754百万円(前年同期は2,327百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間の税引前四半期純利益は、投資有価証券の評価損失及び支払利息の減少等によりその他の費用が減少したことから、前年同期比43.6%増の1,783百万円(前年同期は1,242百万円)となりました。当社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額(損)の減少及び持分法による投資利益の増加等により、前年同期比219.8%増の1,133百万円(前年同期は354百万円)となりました。

当社は、平成22年4月1日付けにて、システムインテグレーション事業を遂行する完全子会社㈱アイアイジェイテクノロジー及びその完全子会社㈱アイアイジェイフィナンシャルシステムズを吸収合併する予定としております。昨今では、クラウドコンピューティングとのコンセプトの台頭に見られるように、インターネットの普及及びインターネット関連技術の進展に伴い、通信と情報処理が同じ技術基盤のうえで機能し、ネットワークと情報システムが一体の企業情報システムインフラとしてアウトソースされていくとの方向がより鮮明になりつつあると認識しております。このような当社グループにとってのビジネス機会の更なる拡大を背景に、合併により、今まで以上にグループ総合力を強化し効果的な経営体制へと変革のうえでトータルソリューション提供能力の強化、技術優位性の継続実現、より効率的な事業運営に努め、更なる中長期成長を展望してまいります。

(2) 経営成績の分析

当社グループの営業収益の大部分は「ネットワークサービス及びシステムインテグレーション(SI)事業」からのものでありますので、本書においてセグメント別の分析は省略しております。

<連結業績サマリー>

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
営業収益合計	50,789	48,313	△4.9
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高	25,941	27,601	6.4
システムインテグレーション売上高	24,105	20,165	△16.3
機器売上高	726	439	△39.6
ATM運営事業売上高	17	108	526.8
売上原価合計	41,255	38,693	△6.2
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上原価	21,851	22,878	4.7
システムインテグレーション売上原価	18,504	14,751	△20.3
機器売上原価	639	380	△40.5
ATM運営事業売上原価	261	684	162.2
販売費、一般管理費及び研究開発費	7,690	7,613	△1.0
営業利益	1,844	2,007	8.8
税引前四半期純利益	1,242	1,783	43.6
当社株主に帰属する四半期純利益	354	1,133	219.8

<セグメント情報サマリー>

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結営業収益	50,789	48,313
ネットワークサービス及びSI事業	50,935	48,525
ATM運営事業	17	108
セグメント間取引消去	163	320
連結営業利益(△損失)	1,844	2,007
ネットワークサービス及びSI事業	2,326	2,754
ATM運営事業	△456	△731
セグメント間取引消去	26	16

i) 営業収益

当第3四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比4.9%減の48,313百万円(前年同期は50,789百万円)となりました。

<インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高>

法人向け接続サービスの売上高は、前年同期比6.8%増の10,367百万円(前年同期は9,706百万円)となりました。IPサービスの契約は堅調に推移し、Gbps超の広帯域回線は前年同期末比39契約増加し121契約となりました。IIJモバイルサービスの受注契約累計数は36,000件超となりました。

個人向け接続サービスの売上高は、ADSL回線から光回線への契約移行に伴う売上単価の増大及び個人向け無線データ通信サービス売上高の増加等より、前年同期比5.7%増の5,134百万円(前年同期は4,859百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、メール関連、ネットワークアウトソーシング関連及びセキュリティ関連サービスの売上高が各々増加し、前年同期比6.4%増の12,099百万円(前年同期は11,376百万円)となりました。

これらの結果、インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高は前年同期比6.4%増の27,601百万円(前年同期は25,941百万円)となりました。

＜システムインテグレーション売上高＞

システム構築による一時売上高は、一般的に企業の設備投資の抑制傾向が継続している影響を強く受けシステム構築案件の中止及び順延等もあり、前年同期比38.7%減の6,135百万円(前年同期は10,014百万円)となりました。継続役務提供に基づく恒常的な運用保守売上高は、一部の大口顧客において提供役務規模の見直しによる売上縮小があり、またシステム構築案件の減少により新規売上が伸び悩み、前年同期比0.4%減の14,030百万円(前年同期は14,091百万円)となりました。

これらの結果、システムインテグレーション売上高は前年同期比16.3%減の20,165百万円(前年同期は24,105百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間末のシステムインテグレーション及び機器販売の受注残高は、前年同期比10.7%増の14,987百万円(前年同期は13,544百万円)となりました。このうち、機器売上を含むシステム構築等による一時売上に関する受注残高は前年同期比25.0%増の5,297百万円(前年同期は4,237百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期比4.1%増の9,690百万円(前年同期は9,307百万円)でありました。

＜機器売上高＞

機器販売は、顧客の要請に応じて機器の調達及び販売を行うものであり、当第3四半期連結会計期間の機器売上高は前年同期比39.6%減の439百万円(前年同期は726百万円)となりました。

＜ATM運営事業売上高＞

ATM運営事業は、連結子会社である㈱トラストネットワークスによるもので、銀行ATM及びそのネットワークシステムを構築し運営することによりATM利用に係る手数料収入を得るものであります。当第3四半期連結会計期間末におけるATM設置台数は147台となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は108百万円(前年同期は17百万円)となりました。

ii) 売上原価

当第3四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比6.2%減の38,693百万円(前年同期は41,255百万円)となりました。

＜インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上原価＞

インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上原価は、主として設備関連費用、外注関連費用及び無線データ通信サービスの契約増加に伴う回線関連費用の増加等があり、前年同期比4.7%増の22,878百万円(前年同期は21,851百万円)となりました。インターネット接続及びアウトソーシングサービスの売上総利益は、前年同期比15.5%増の4,722百万円(前年同期は4,089百万円)となり、売上総利益率は17.1%となりました。

＜システムインテグレーション売上原価＞

システムインテグレーションの売上原価は、常駐外注人員の削減による外注関連費用の減少及びシステム構築売上高の減少に伴う仕入れの減少等があり、前年同期比20.3%減の14,751百万円(前年同期は18,504百万円)となりました。システムインテグレーションの売上総利益は、前年同期比3.3%減の5,414百万円(前年同期は5,601百万円)となりました。売上総利益率は前年同期比3.6ポイント改善し26.8%となりました。

＜機器売上原価＞

機器売上原価は、機器売上高の減少に伴い、前年同期比40.5%減の380百万円(前年同期は639百万円)となりました。売上総利益は、59百万円(前年同期は87百万円)となり、売上総利益率は13.4%となりました。

＜ATM運営事業売上原価＞

ATM運営事業は、引き続き事業立ち上げ時期にあり、当第3四半期連結累計期間のATM運営事業売上原価は684百万円(前年同期は261百万円)となりました。

iii) 販売費、一般管理費及び研究開発費

当第3四半期連結累計期間における販売費、一般管理費及び研究開発費の総額は、前年同期比1.0%減の7,613百万円(前年同期は7,690百万円)となりました。

<販売費>

販売費は、主として人件関連費用、無形固定資産の除却及び第3四半期より業務システム稼動に伴う減価償却費の増加等があり、前年同期比12.0%増の3,928百万円(前年同期は3,506百万円)となりました。

<一般管理費>

一般管理費は、外注関連費用の減少及び一般経費の抑制等により、前年同期比13.2%減の3,444百万円(前年同期は3,967百万円)となりました。

<研究開発費>

研究開発費は、㈱IIJイノベーションインスティテュートに係る研究開発費の増加等により、前年同期比11.4%増の241百万円(前年同期は216百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第3四半期連結累計期間における営業利益は、立ち上げ時期にあるATM運営事業に係る損失は増加したものの、インターネット接続及びアウトソーシングサービスに係る売上総利益の増加及び一般管理費の減少等により、前年同期比8.8%増の2,007百万円(前年同期は1,844百万円)となりました。

v) その他の収益(△費用)

当第3四半期連結累計期間におけるその他の収益(△費用)は、投資有価証券評価損及び支払利息の減少等により、224百万円のその他の費用(前年同期は602百万円)となりました。

vi) 税引前四半期純利益

当第3四半期連結累計期間における税引前四半期純利益は、前年同期比43.6%増の1,783百万円(前年同期は1,242百万円)となりました。

vii) 四半期純利益

当第3四半期連結累計期間における法人税等は、法人税等調整額(損)790百万円(前年同期の法人税等調整額(損)は972百万円)の計上があり、1,042百万円の費用(前年同期は1,192百万円の費用)となりました。

当第3半期連結累計期間における持分法による投資損益は、127百万円の利益(前年同期は45百万円の利益)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は、前年同期比815.4%増の868百万円(前年同期は95百万円)となりました。

viii) 当社株主に帰属する四半期純利益

当第3四半期連結累計期間における非支配持分に帰属する四半期純損失は、GDJ Japan(株)及び㈱トラストネットワークスに係る損失により265百万円(前年同期は259百万円)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比219.8%増の1,133百万円(前年同期は354百万円)となりました。

(3) 参考情報

インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高の内訳、インターネット接続サービスの契約数及び法人向け接続サービスの契約総帯域は、下記のとおりであります

<インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高の内訳>

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高合計	25,941	27,601	6.4
うち、法人向け接続サービス	9,706	10,368	6.8
うち、IPサービス(インターネットデータセンター接続サービスを含む)	6,923	6,957	0.5
うち、IIJ FiberAccess/F及びIIJ DSL/F(ブロードバンド対応型)サービス	2,158	2,196	1.7
うち、IIJモバイルサービス(法人向け)	363	994	173.7
うち、その他	262	221	△15.4
うち、個人向け接続サービス	4,859	5,134	5.7
うち、自社ブランド提供分	762	775	1.7
うち、ハイホーブランド提供分	3,682	3,934	6.9
うち、OEM提供分	415	425	2.4
うち、アウトソーシングサービス	11,376	12,099	6.4

<インターネット接続サービスの契約数>

	前第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日現在)	増減数
	契約数(件)	契約数(件)	(件)
法人向け接続サービス契約数合計	47,277	66,171	18,894
うち、IPサービス(100Mbps未満)	936	927	△9
うち、IPサービス(100Mbps-1Gbps未満)	223	244	21
うち、IPサービス(1Gbps以上)	82	121	39
うち、インターネットデータセンター接続サービス	301	299	△2
うち、IIJ FiberAccess/F及びIIJ DSL/F(ブロードバンド対応型)サービス	25,295	27,805	2,510
うち、IIJモバイルサービス(法人向け)	18,830	35,357	16,527
うち、その他	1,610	1,418	△192
個人向け接続サービス契約数合計	450,708	404,700	△46,008
うち、自社ブランド提供分	47,327	47,718	391
うち、ハイホーブランド提供分	183,416	171,511	△11,905
うち、OEM提供分	219,965	185,471	△34,494

<法人向け接続サービスの契約総帯域>

	前第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日現在)	増減
	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向け接続サービス契約総帯域(注)	476.6	647.2	170.6

(注) 法人向け接続サービスのうち、IPサービス、インターネットデータセンター接続サービス及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じることにより算出しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び株主資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計期間末3,300百万円減少し、49,002百万円となりました。

前連結会計年度末からの主な増減内容として、流動資産において、現金及び現金同等物の減少1,722百万円及び売掛金の減少1,682百万円、主としてシステム構築案件に係るたな卸資産の増加693百万円、機器保守費等の前払費用の増加561百万円等がありました。流動負債において、短期借入金の減少2,250百万円、買掛金及び未払金の減少1,029百万円等がありました。長期リース債務残高は、932百万円の減少となりました。

当第3四半期連結会計期間末における繰延税金流動資産及び繰延税金固定資産(共に純額)の残高は、各々492百万円及び1,770百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末におけるその他投資の残高は、前連結会計年度末比202百万円増加し2,117百万円となり、その内訳は、非上場株式等1,036百万円、上場株式等の売却可能有価証券727百万円及び出資金等354百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における電話加入権を除くのれん等の非償却無形固定資産の残高は5,368百万円となり、その内訳は、のれん2,639百万円、顧客関係2,537百万円及び商標権192百万円でありました。また、償却対象無形固定資産の残高は227百万円となり、その内訳は、顧客関係122百万円及びライセンス105百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における当社株主に帰属する資本の額は、前連結会計年度末比649百万円増の25,818百万円となり、当社株主に帰属する資本比率は、前連結会計年度末比4.6ポイント改善し、52.7%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、8,466百万円(前年同四半期末における現金及び現金同等物は8,955百万円)となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主としてインターネット接続及びアウトソーシングサービスに係る売上総利益の増加及び一般管理費の減少等による営業利益の増加があり、また、売掛金の減少1,657百万円(前年同期は2,656百万円の減少)、たな卸資産及び前払費用等の増加638百万円(前年同期は1,249百万円の増加)等の営業資産の増減、主としてシステム構築案件の減少による仕入れ等の減少に伴う買掛金及び未払金の減少669百万円(前年同期は2,122百万円の減少)等の営業負債の減少等があり、これらを主要因として、6,261百万円の収入(前年同期は5,351百万円の収入)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得にて2,625百万円の支出(前年同期は2,663百万円の支出)、短期投資及びその他の投資の取得250百万円(前年同期は125百万円の支出)の支出等があり、これらを主要因として、2,798百万円の支出(前年同期は2,926百万円の支出)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、キャピタル・リース債務の元本返済2,658百万円(前年同期の返済額は2,848百万円)、短期借入金の返済2,250百万円(純額)(前年同期の返済額は1,350百万円(純額))、平成21年3月期の期末配当金及び平成22年3月期の中間配当金の支払い405百万円等があり、これらを主要因として、5,163百万円の支出(前年同期は4,911百万円の支出)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済環境につきましては、景気は緩やかなペースで持ち直すことが期待される一方で、雇用情勢の継続的な低迷及び世界景気の不振など景気下押しリスクに留意する必要があるものと認識しております。

当第3四半期累計期間の売上高は、主として景気低迷による企業の設備投資抑制によるシステムインテグレーション案件の順延及び全般的なコスト削減の強まり等があり、当初想定を下回り推移しております。一方、営業利益については、外注関連費用及び一般管理費の削減をはじめとするコストコントロールが奏功し、ほぼ当初想定どおりの水準にて推移しております。

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の売上高推移及び当第3四半期累計期間末におけるシステムインテグレーション及び機器販売の受注残高の状況を鑑み、連結営業収益の予想数値を従前の73,000百万円から68,000百万円に変更いたします。営業利益、税引き前当期純利益及び当社株主に帰属する当期純利益の予想数値につきましては、当第3四半期累計期間の利益推移及び第4四半期における売上及び費用規模見込みを鑑み、従前の予想数値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社グループは、当連結会計年度の第2四半期連結会計期間よりASC105「一般に公正妥当と認められた会計原則」を適用しております。同基準は、従来、会計研究公報、会計原則審議会意見書、SFAS及びその解釈指針等からなっていた米国会計基準について、当該基準を会計基準編纂書に含まれる権威あるものと会計基準編纂書に含まれない権威のないものの2つに区分し、従来の基準書の体系を変更しております。当社グループにおいては、当連結会計年度の第2四半期連結会計期間より、新しく体系化された番号により会計基準を記載し開示を行っております。

平成21年4月1日より、ASC805「企業結合」（旧SFAS改訂第141号「企業結合」）を適用しております。ASC805は、買収者が財務諸表において、取得した識別可能な資産、引き受けた負債、被買収者の非支配持分及び取得したのれんの認識及び測定に関する基準及び要求を規定しており、企業結合の内容及び財務諸表に対する影響の評価を可能にする開示要求を規定しております。当第3四半期連結累計期間において企業結合は発生していないため、ASC805の適用は、当社グループの連結財政状態及び経営成績に重要な影響を与えませんでした。将来の影響については、結合する事業の規模と内容に大きく依存するものと見込まれます。

平成21年4月1日より、ASC810-10-65「連結：連結財務諸表における非支配持分—会計研究公報第51号の改訂」を適用しております。ASC810-10-65は、子会社における非支配持分は親会社における株主持分として、連結財務諸表上資本の部に表示することを要求しております。また、支配獲得後の持分変動における支配喪失を伴わない取引については、資本取引として処理することも要求しております。これにより当社グループは、従来連結貸借対照表の負債の部と資本の部の中間に分類していた少数株主持分を非支配持分として資本の部に含めて計上し、また、連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書の表示科目を変更しております。ASC810-10-65の表示及び開示に関する規定は遡及的に適用されることから、当社グループは、前連結会計年度の連結貸借対照表ならびに前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表を組替表示しております。なお、ASC810-10-65の適用による当社グループの連結財政状態及び経営成績への重要な影響はありませんでした。

(4) その他の参考情報

当社は、平成22年2月4日開催の取締役会において、平成22年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社とし、当社の完全連結子会社である㈱アイアイジェイテクノロジーを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議いたしました。また、㈱アイアイジェイテクノロジーは、平成22年2月4日開催の同社取締役会において、平成22年4月1日を効力発生日として、同社を吸収合併存続会社とし、同社の完全連結子会社である㈱アイアイジェイフィナンシャルシステムズを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議いたしました。

5. 四半期連結財務諸表〔米国会計基準〕

(1) 四半期連結貸借対照表 (未監査)

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産:				
現金及び現金同等物	8,466,102		10,187,724	
売掛金				
－平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ 29,207千円及び22,072千円の貸倒引当金控除後	8,574,513		10,256,527	
たな卸資産	1,222,961		529,756	
前払費用	2,332,852		1,771,955	
繰延税金資産-流動	492,273		762,221	
その他流動資産				
－平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ720 千円及び11,720千円の貸倒引当金控除後	583,468		848,586	
流動資産合計	21,672,169	44.2	24,356,769	46.6
持分法適用関連会社に対する投資	1,097,765	2.2	947,626	1.8
その他投資	2,116,827	4.3	1,914,594	3.7
有形固定資産				
－平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ 18,830,595千円及び16,444,517千円の減価償却累計額控除後	13,160,935	26.9	13,172,891	25.2
のれん	2,639,319	5.4	2,639,319	5.0
その他無形固定資産-純額	2,965,166	6.1	3,201,806	6.1
敷金保証金	2,067,234	4.2	2,072,652	4.0
繰延税金資産-非流動	1,770,496	3.6	2,253,464	4.3
その他資産				
－平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ 89,100千円及び72,800千円の貸倒引当金、並びに16,701千円 の貸付金に対する評価性引当金控除後	1,511,710	3.1	1,742,078	3.3
資産合計	49,001,621	100.0	52,301,199	100.0

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債及び資本の部)				
流動負債：				
短期借入金	5,100,000		7,350,000	
短期リース債務	3,110,449		3,272,257	
買掛金及び未払金	5,035,574		6,064,829	
未払費用	1,248,453		1,069,310	
退職給付引当金－流動	11,959		11,959	
繰延収益	1,315,029		1,255,749	
その他流動負債	726,688		763,544	
流動負債合計	16,548,152	33.8	19,787,648	37.8
長期リース債務	3,934,469	8.0	4,866,120	9.3
退職給付引当金－非流動	1,638,013	3.3	1,399,592	2.7
その他固定負債	951,781	2.0	1,004,920	1.9
負債合計	23,072,415	47.1	27,058,280	51.7
約定債務及び偶発債務				
資本：				
当社株主に帰属する資本：				
資本金：普通株式				
－平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、授權株式 数：377,600株、発行済株式数：206,478株	16,833,847	34.4	16,833,847	32.2
資本準備金	27,459,397	56.0	27,611,737	52.8
欠損金	△ 17,820,937	△ 36.4	△ 18,549,142	△ 35.5
その他の包括損失累計額	△ 247,515	△ 0.5	△ 320,711	△ 0.6
自己株式				
－平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、当社が保有 する株式数：3,934株	△ 406,547	△ 0.8	△ 406,547	△ 0.8
当社株主に帰属する資本合計	25,818,245	52.7	25,169,184	48.1
非支配持分	110,961	0.2	73,735	0.2
資本合計	25,929,206	52.9	25,242,919	48.3
負債及び資本合計	49,001,621	100.0	52,301,199	100.0

(2) 四半期連結損益計算書(未監査)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
営業収益:				
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高:				
法人向け接続サービス	9,705,875		10,367,448	
個人向け接続サービス	4,859,054		5,133,887	
アウトソーシングサービス	11,375,933		12,099,128	
合計	25,940,862		27,600,463	
システムインテグレーション売上高:				
構築	10,014,019		6,134,986	
運用保守	14,091,056		14,030,403	
合計	24,105,075		20,165,389	
機器売上高	725,801		438,710	
ATM運営事業売上高	17,265		108,217	
営業収益合計	50,789,003	100.0	48,312,779	100.0
営業費用:				
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上原価	21,851,462		22,878,358	
システムインテグレーション売上原価	18,503,892		14,751,253	
機器売上原価	639,053		379,946	
ATM運営事業売上原価	260,587		683,253	
売上原価合計	41,254,994	81.3	38,692,810	80.1
販売費	3,506,005	6.9	3,927,736	8.1
一般管理費	3,967,468	7.8	3,444,078	7.1
研究開発費	216,194	0.4	240,924	0.5
営業費用合計	48,944,661	96.4	46,305,548	95.8
営業利益	1,844,342	3.6	2,007,231	4.2
その他の収益(費用):				
受取利息	32,542		17,990	
支払利息	310,146		241,172	
為替差損	9,529		3,804	
その他投資の売却に係る利益 - 純額	17,680		20,640	
その他投資に係る評価損失	329,216		49,441	
その他 - 純額	3,513		31,762	
その他の収益(費用)合計 - 純額	602,182	1.2	224,025	0.5
法人税等及び持分法による投資損益調整前四半期純利益	1,242,160	2.4	1,783,206	3.7
法人税等	1,192,429	2.3	1,042,191	2.2
持分法による投資損益	45,107	0.1	127,164	0.3
四半期純利益	94,838	0.2	868,179	1.8
控除 - 非支配持分に帰属する四半期純損失	259,484	0.5	265,114	0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	354,322	0.7	1,133,293	2.3
1株当たり四半期純利益				
基本的加重平均流通普通株式数(株)	206,023		202,544	
希薄化後加重平均流通普通株式数(株)	206,063		202,544	
基本的普通株式1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益(円)	1,719.82		5,595.29	
希薄化後普通株式1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益(円)	1,719.48		5,595.29	

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー：		
四半期純利益	94,838	868,179
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整：		
減価償却費等	3,953,643	3,934,464
退職給付引当金繰入額 - 支払額控除後	194,953	238,421
貸倒引当金繰入額	17,752	27,074
有形固定資産除却損	163,772	22,750
その他投資の売却に係る利益 - 純額	17,680	20,640
その他投資に係る評価損失	329,216	49,441
為替差損	20,828	16,213
持分法による投資損益(受取配当金控除後)	14,727	127,164
繰延税金費用	972,197	790,481
その他	1,972	-
営業資産及び負債の増減 - 企業及び事業の買収による 影響額の控除後：		
売掛金の減少	2,656,278	1,657,103
たな卸資産、前払費用、その他流動資産及びその他 固定資産の増加	1,248,854	638,113
買掛金及び未払金の減少	2,122,235	669,050
未払法人所得税の減少	326,868	113,578
未払費用、その他流動負債及びその他固定負債の 増加 - 純額	675,782	225,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,350,867	6,260,599
投資活動によるキャッシュ・フロー：		
有形固定資産の取得	2,663,014	2,624,507
売却可能有価証券の取得	99,992	29,184
短期投資及びその他投資の取得	125,264	250,016
持分法適用関連会社株式への投資	-	22,834
売却可能有価証券の売却による収入	-	67,592
短期投資及びその他投資の売却による収入	48,882	56,824
敷金保証金の支払	82,904	60,250
敷金保証金の返還	27,349	64,750
積立保険料の支払	38,504	41,866
保険払戻金	7,382	39,959
その他	53	1,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,926,118	2,798,034

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
財務活動によるキャッシュ・フロー：		
当初の返済期限が3ヶ月を超える短期借入金による調達	10,500,000	5,750,000
当初の返済期限が3ヶ月を超える短期借入金の返済	11,550,000	10,450,000
キャピタル・リース債務の元本返済	2,847,726	2,658,062
当初の返済期限が3ヶ月以内の短期借入金の純増減()	300,000	2,450,000
少数株主に対する株式の発行による収入	-	150,000
配当金の支払額	412,956	405,088
自己株式の取得	300,555	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,911,237	5,163,150
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響	29,045	21,037
現金及び現金同等物の減少額	2,515,533	1,721,622
現金及び現金同等物の期首残高	11,470,980	10,187,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,955,447	8,466,102
キャッシュ・フローに係る追加情報：		
利息支払額	309,719	243,173
法人所得税支払額	774,751	160,263
現金支出を伴わない投資及び財務活動：		
キャピタル・リース契約締結による資産の取得額	3,685,356	1,562,959
有形固定資産の取得に係る未払金	154,107	174,772

(4) 継続企業の前提に関する注記(未監査)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報(未監査)

ビジネスセグメント情報:

営業収益:

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
ネットワークサービス及びシステム インテグレーション事業	50,934,525	48,524,786
外部顧客に対するもの	50,771,738	48,204,562
セグメント間取引	162,787	320,224
ATM運営事業	17,265	108,217
外部顧客に対するもの	17,265	108,217
セグメント間取引	-	-
セグメント間取引消去	162,787	320,224
連結	50,789,003	48,312,779

営業利益(損失):

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
ネットワークサービス及びシステム インテグレーション事業	2,326,526	2,753,891
ATM運営事業	456,396	730,462
セグメント間取引消去	25,788	16,198
連結	1,844,342	2,007,231

なお、地域別情報については、海外取引に重要性がないため、開示しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記(未監査)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

該当事項はありません。

6. その他の情報 (未監査)

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績は、以下のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
システムインテグレーション	15,287,225	△19.0
合計	15,287,225	△19.0

- (注) 1 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 前年同期比の欄の%表示は、前年同期比での増減率を記載しております。
 3 当社グループは、インターネット接続及びアウトソーシングサービス、機器販売ならびにATM運営事業において生産を行っておりませんので、これらに係る生産実績の記載事項はありません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績は、以下のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
システムインテグレーション及び機器販売	20,719,675	△7.8	14,986,577	10.7
合計	20,719,675	△7.8	14,986,577	10.7

- (注) 1 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 前年同期比の欄の%表示は、前年同期比での増減率を記載しております。
 3 当社グループは、インターネット接続及びアウトソーシングサービスならびにATM運営事業において受注生産を行っておりませんので、これらに係る受注高及び受注残高の記載事項はありません。
 4 システムインテグレーション及び機器販売において、受注段階における区分は困難であるため、これらの合計額を記載しております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績は、以下のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高合計	27,600,463	6.4
うち、法人向け接続サービス	10,367,448	6.8
うち、個人向け接続サービス	5,133,887	5.7
うち、アウトソーシングサービス	12,099,128	6.4
システムインテグレーション売上高合計	20,165,389	△16.3
うち、構築	6,134,986	△38.7
うち、運用保守	14,030,403	△0.4
機器売上高	438,710	△39.6
ATM運営事業売上高	108,217	526.8
計	48,312,779	△4.9

- (注) 1 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 前年同期比の欄の%表示は、前年同期比での増減率を記載しております。
 3 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間において、総販売実績に対する割合が100分の10を超える主要な販売先はありませんので、主要な販売先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合について記載を省略しております。

平成22年3月期 第3四半期(3ヶ月)の連結業績〔米国会計基準〕

当社グループの平成22年3月期第3四半期(平成21年10月1日から平成21年12月31日までの3ヶ月)の連結業績(米国会計基準、未監査)について、以下のとおり開示いたします。

＜＜ 決算ハイライト ＞＞

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
営業収益(売上高)	17,535	16,038	△8.5
うち、インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高	8,940	9,297	4.0
うち、システムインテグレーション売上高	8,388	6,542	△22.0
うち、機器売上高	201	129	△36.0
うち、ATM運営事業売上高	6	70	1,012.6
売上原価	14,170	12,656	△10.7
うち、インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上原価	7,510	7,567	0.8
うち、システムインテグレーション売上原価	6,326	4,702	△25.7
うち、機器売上原価	174	111	△36.5
うち、ATM運営事業売上原価	160	276	72.3
販売費、一般管理費等及び研究開発費	2,526	2,541	0.6
営業利益	839	841	0.3
税引前四半期純利益	476	758	59.1
当社株主に帰属する四半期純利益(△純損失)	△13	418	—

＜インターネット接続及びアウトソーシングサービスの売上高、売上原価及び売上総利益率(3ヶ月)＞

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高合計	8,940	9,297	4.0
うち、法人向け接続サービス	3,378	3,480	3.0
うち、IPサービス(インターネットデータセンター接続サービスを含む)	2,358	2,308	△2.1
うち、IIJ FiberAccess/F及びIIJ DSL/F(ブロードバンド対応型)サービス	725	740	2.2
うち、IIJモバイルサービス(法人向け)	212	361	70.3
うち、その他	83	71	△15.4
うち、個人向け接続サービス	1,648	1,724	4.6
うち、自社ブランド提供分	251	262	4.5
うち、ハイホーブランド提供分	1,257	1,322	5.2
うち、OEM提供分	140	140	△0.2
うち、アウトソーシングサービス	3,914	4,093	4.6
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上原価	7,510	7,567	0.8
うち、バックボーンコスト	930	915	△1.6
売上総利益率	16.0%	18.6%	—

<システムインテグレーションの売上高、売上原価及び売上総利益率(3ヶ月)>

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
システムインテグレーション売上高	8,388	6,542	△22.0
うち、構築	3,724	1,987	△46.6
うち、運用保守	4,664	4,555	△2.3
システムインテグレーション売上原価	6,326	4,702	△25.7
売上総利益率	24.6%	28.1%	—

<機器売上の売上高、売上原価及び売上総利益率(3ヶ月)>

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
機器売上高	201	129	△36.0
機器売上原価	174	111	△36.5
売上総利益率	13.6%	14.3%	—

<ATM運営事業の売上高及び売上原価(3ヶ月)>

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
ATM運営事業売上高 ^(注1)	6	70	1,012.6
ATM運営事業売上原価 ^(注1)	160	276	72.3

(注1) ATM運営事業について、売上総利益(△総損失)率の記載は省略しております。

<その他の財務指標(3ヶ月)>

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
Adjusted EBITDA(償却前営業利益) ^(注2)	2,194	2,132	△2.8
設備投資(キャピタル・リースを含む) ^(注2)	1,832	1,574	△14.1
減価償却費等	1,355	1,291	△4.7

(注2) (別紙)参考資料2:「平成22年3月期 第3四半期(3ヶ月)の連結業績〔米国会計基準〕に関する追加情報」の連結財務指標の調整表をご参照下さい。

四半期連結財務諸表〔米国会計基準〕

(1) 四半期連結貸借対照表(未監査)

区分	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産:				
現金及び現金同等物	8,466,102		10,187,724	
売掛金				
- 平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ29,207千円及び22,072千円の貸倒引当金控除後	8,574,513		10,256,527	
たな卸資産	1,222,961		529,756	
前払費用	2,332,852		1,771,955	
繰延税金資産-流動	492,273		762,221	
その他流動資産				
- 平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ720千円及び11,720千円の貸倒引当金控除後	583,468		848,586	
流動資産合計	21,672,169	44.2	24,356,769	46.6
持分法適用関連会社に対する投資	1,097,765	2.2	947,626	1.8
その他投資	2,116,827	4.3	1,914,594	3.7
有形固定資産				
- 平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ18,830,595千円及び16,444,517千円の減価償却累計額控除後	13,160,935	26.9	13,172,891	25.2
のれん	2,639,319	5.4	2,639,319	5.0
その他無形固定資産-純額	2,965,166	6.1	3,201,806	6.1
敷金保証金	2,067,234	4.2	2,072,652	4.0
繰延税金資産-非流動	1,770,496	3.6	2,253,464	4.3
その他資産				
- 平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、それぞれ89,100千円及び72,800千円の貸倒引当金、並びに16,701千円の貸付金に対する評価性引当金控除後	1,511,710	3.1	1,742,078	3.3
資産合計	49,001,621	100.0	52,301,199	100.0
(負債及び資本の部)				
流動負債:				
短期借入金	5,100,000		7,350,000	
短期リース債務	3,110,449		3,272,257	
買掛金及び未払金	5,035,574		6,064,829	
未払費用	1,248,453		1,069,310	
退職給付引当金-流動	11,959		11,959	
繰延収益	1,315,029		1,255,749	
その他流動負債	726,688		763,544	
流動負債合計	16,548,152	33.8	19,787,648	37.8
長期リース債務	3,934,469	8.0	4,866,120	9.3
退職給付引当金-非流動	1,638,013	3.3	1,399,592	2.7
その他固定負債	951,781	2.0	1,004,920	1.9
負債合計	23,072,415	47.1	27,058,280	51.7
約定債務及び偶発債務				
資本:				
当社株主に帰属する資本:				
資本金:普通株式				
- 平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、授權株式数:377,600株、発行済株式数:206,478株	16,833,847	34.4	16,833,847	32.2
資本準備金	27,459,397	56.0	27,611,737	52.8
欠損金	17,820,937	36.4	18,549,142	35.5
その他の包括損失累計額	247,515	0.5	320,711	0.6
自己株式				
- 平成21年12月31日及び平成21年3月31日現在、当社が保有する株式数:3,934株	406,547	0.8	406,547	0.8
当社株主に帰属する資本合計	25,818,245	52.7	25,169,184	48.1
非支配持分	110,961	0.2	73,735	0.2
資本合計	25,929,206	52.9	25,242,919	48.3
負債及び資本合計	49,001,621	100.0	52,301,199	100.0

(2) 四半期連結損益計算書(未監査)

区分	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
営業収益:				
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上高:				
法人向け接続サービス	3,378,154		3,480,241	
個人向け接続サービス	1,647,803		1,723,836	
アウトソーシングサービス	3,913,676		4,092,688	
合計	8,939,633		9,296,765	
システムインテグレーション売上高:				
構築	3,724,073		1,986,972	
運用保守	4,663,447		4,554,855	
合計	8,387,520		6,541,827	
機器売上高	201,714		129,124	
ATM運営事業売上高	6,295		70,039	
営業収益合計	17,535,162	100.0	16,037,755	100.0
営業費用:				
インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上原価	7,510,069		7,567,089	
システムインテグレーション売上原価	6,325,592		4,701,783	
機器売上原価	174,212		110,631	
ATM運営事業売上原価	160,603		276,736	
売上原価合計	14,170,476	80.8	12,656,239	78.9
販売費	1,154,972	6.6	1,334,099	8.3
一般管理費	1,298,297	7.4	1,128,380	7.1
研究開発費	72,517	0.4	77,889	0.5
営業費用合計	16,696,262	95.2	15,196,607	94.8
営業利益	838,900	4.8	841,148	5.2
その他の収益(費用):				
受取利息	6,299		4,904	
支払利息	103,739		72,983	
為替差損	13,527		8,423	
その他投資の売却に係る利益 - 純額	17,680		9,338	
その他投資に係る評価損失	268,124		18,269	
その他 - 純額	1,379		1,878	
その他の収益(費用)合計 - 純額	362,790	2.1	83,555	0.5
法人税等及び持分法による投資損益調整前四半期純利益	476,110	2.7	757,593	4.7
法人税等	653,305	3.7	514,382	3.2
持分法による投資損益	44,272	0.2	85,017	0.5
四半期純利益(純損失)	132,923	0.8	328,228	2.0
控除-非支配持分に帰属する四半期純損失	119,691	0.7	89,678	0.6
当社株主に帰属する四半期純利益(純損失)	13,232	0.1	417,906	2.6
1株当たり四半期純利益				
基本的加重平均流通普通株式数(株)	205,117		202,544	
希薄化後加重平均流通普通株式数(株)	205,117		202,544	
基本的普通株式1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益(純損失)(円)	64.51		2,063.29	
希薄化後普通株式1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益(純損失)(円)	64.51		2,063.29	

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー：		
四半期純利益(純損失)	132,923	328,228
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整：		
減価償却費等	1,354,538	1,290,948
退職給付引当金繰入額 支払額控除後	65,470	92,052
貸倒引当金繰入額	9,361	27,720
有形固定資産除却損	128,044	4,499
その他投資の売却に係る利益	17,680	9,338
その他投資に係る評価損失	268,124	18,269
為替差損益	11,961	1,999
持分法による投資損益	44,272	85,017
繰延税金	594,214	417,616
その他	265	-
営業資産及び負債の増減 - 企業及び事業の買収による影響額の控除後：		
売掛金の減少	400,457	121,875
たな卸資産、前払費用、その他流動資産及びその他固定資産の増加	837,254	401,483
買掛金及び未払金の減少	884,216	154,017
未払法人所得税の増加・減少()	30,525	69,577
未払費用、その他流動負債及びその他固定負債の増加・減少() - 純額	399,665	111,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,346,279	1,468,385
投資活動によるキャッシュ・フロー：		
有形固定資産の取得	915,042	675,456
売却可能有価証券の取得	-	12,817
短期投資及びその他投資の取得	6,001	50,000
売却可能有価証券の売却による収入	-	34,800
短期投資及びその他投資の売却による収入	36,873	9,693
敷金保証金の支払	4,186	15,607
敷金保証金の返還	9,467	28,188
積立保険料の支払	12,890	12,936
その他	51	1,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	891,728	692,956
財務活動によるキャッシュ・フロー：		
当初の返済期限が3ヶ月を超える短期借入金による調達	5,100,000	650,000
当初の返済期限が3ヶ月を超える短期借入金の返済	5,675,000	5,100,000
キャピタル・リース債務の元本返済	1,103,879	947,971
当初の返済期限が3ヶ月以内の短期借入金の純増減()	1,375,000	2,350,000
少数株主に対する株式の発行による収入	-	150,000
配当金の支払額	206,478	202,544
自己株式の取得	300,555	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	810,912	3,100,515
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響	7,427	2,171
現金及び現金同等物の減少額	363,788	2,322,915
現金及び現金同等物の期首残高	9,319,235	10,789,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,955,447	8,466,102

平成22年3月期 第3四半期(3ヶ月)の連結業績〔米国会計基準〕に関する追加情報

当社グループの平成22年3月期 第3四半期(3ヶ月)の連結業績〔米国会計基準〕について、以下の補足情報を追加で開示いたします。

連結財務指標の調整表

1. Adjusted EBITDA (償却前営業利益) (3ヶ月)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
	百万円	百万円
Adjusted EBITDA (償却前営業利益)	2,194	2,132
減価償却費等	△1,355	△1,291
営業利益	839	841
その他の収益(△費用)-純額	△363	△84
法人税等	653	514
持分法による投資損益	44	85
四半期純利益(△純損失)	△133	328
控除-非支配持分に帰属する四半期純損失	120	90
当社株主に帰属する四半期純利益(△純損失)	△13	418

2. 設備投資(3ヶ月)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
	百万円	百万円
設備投資額(キャピタル・リースを含む)	1,832	1,574
キャピタル・リース契約締結による資産の取得額	917	899
有形固定資産の取得額	915	675

(注) 当社の四半期連結財務諸表は、米国会計基準に基づき作成をしておりますが、米国会計基準以外の指標(当社の公表する、Adjusted EBITDA(償却前営業利益)、設備投資など)について公表する場合には、当該指標の算定根拠(調整表)を添付することが、米国SEC(米国証券取引委員会)より求められております。